



小型ブルーチップオープンのご紹介

ポイント

- ① 年初来および現運用者の担当来の運用状況
- ② ファンドのコンセプト
- ③ 銘柄紹介

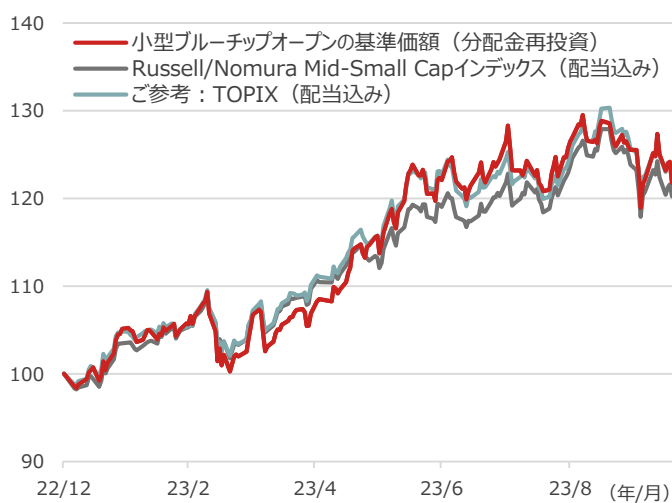
① 年初来および現運用者の担当来の運用状況

2023年は、先行き不透明な環境下で好パフォーマンスを実現

2023年は、米国と中国の対立や米金融当局の金融引き締め環境の継続懸念、ロシアのウクライナ侵攻の長期化など世界の株式市場は多くの不安材料をかかえています。このような環境下ではありましたが、国内株式市場は日本の長期にわたるデフレからの脱却期待や東京証券取引所による「PBR1倍未満」の上場企業に対する改善策の要請などの企業価値向上に向けた取り組みを好感し、TOPIX（東証株価指数）配当込みは年初から22%の上昇（10月19日時点）となりました。国内の中小型株を中心に、成長（売り上げの伸びや利益率の上昇等）が期待できる銘柄に投資する「小型ブルーチップオープン」（以下、当ファンド）は、同期間において22%の上昇となり、Russell/Nomura Mid-Small Capインデックス（配当込み、以下ベンチマーク）の20%を上回りました。（左下図）

また、当ファンドは、1996年7月に設定された長寿ファンドです。現運用者は2016年4月より当ファンドを担当しており、担当来のパフォーマンスはベンチマークを大幅に上回りました。（右下図）

基準価額（分配金再投資）と指数の推移（年初来）



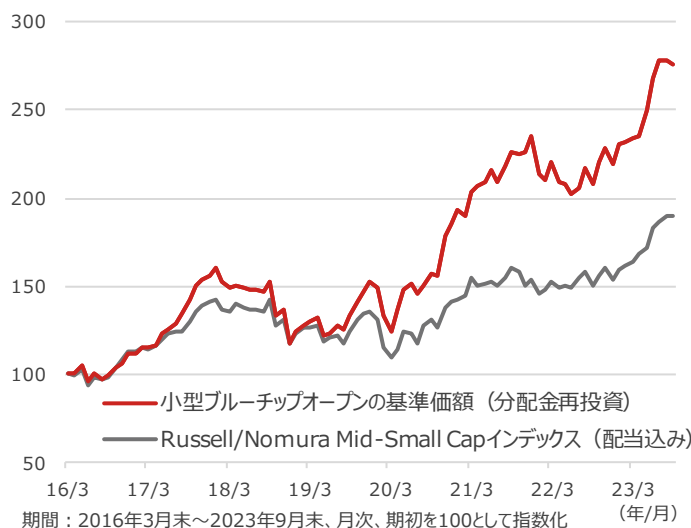
期間：2022年12月30日～2023年10月19日、日次、期初を100として指数化

基準価額（分配金再投資）については、5ページをご参照ください。

（注）Russell/Nomura Mid-Small Capインデックス（配当込み）は当ファンドのベンチマークです。TOPIX（東証株価指数）（配当込み）は当ファンドのベンチマークではありません。

（出所）ブルームバーグおよび社内のデータを基に野村アセットマネジメント作成

基準価額（分配金再投資）と指数の推移（担当来）



期間：2016年3月末～2023年9月末、月次、期初を100として指数化

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

② ファンドのコンセプト

小型ブルーチップオープンコンセプト

国内の中小型株を中心に、成長（売り上げの伸びや利益率の上昇等）が期待できる銘柄に投資を行なう当ファンドでは、「変化」を投資軸としています。具体的には、投資環境の変化、社会/企業の変化に対し、「臨機応変」と「メリハリ」を特徴とした運用を行なっています。当ファンドは、グロース（成長株）やバリュー（割安株）といったスタイルに縛られず、外部環境の変化に合わせ臨機応変に、投資する時点で割安と考える銘柄に投資します。また、成長期待が高い銘柄のウェイトを高め、メリハリのきいたポートフォリオを構築することで超過収益の獲得を目指すことも特徴の一つです。

投資環境の変化への対応

リスクオン（リスクを取ることが選好される）局面では、成長企業等のウェイトを引き上げ、リスクオフ（リスクを取ることが忌避される）局面では、勝ち残り企業等のウェイトを引き上げる、といった対応を行ないます。日々変化する投資環境に応じてポートフォリオを臨機応変に入れ替えます。

社会/企業の変化への対応

金融市場だけでなく、社会/企業も日々変化しています。当ファンドでは、成長企業や勝ち残り企業に選別投資します。ファンドのパフォーマンスの主な決定要因は、「市場を上回るパフォーマンスをあげる銘柄を選ぶ的中率」と「それら各銘柄の超過収益の大きさ」、の2つに簡易的に分解できます。メリハリのきいたポートフォリオ構築を特徴とする当ファンドでは後者を重視しています。野球で例えるなら、数多くのヒットを狙うよりも、数は少なくともホームランを狙うイメージです。

上記のファンドコンセプトは今後変更となる可能性があります。資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご留意事項】を必ずご覧ください。

当ファンドの運用コンセプト

「変化」が投資軸
「臨機応変」と「メリハリ」を特徴とした運用

投資環境の変化

に対しては

ギアチェンジで対応

- ✓ リスクオン局面：「攻め」のポートフォリオ（成長企業や景気敏感株へのシフト）
- ✓ リスクオフ局面：「守り」のポートフォリオ（勝ち残り企業や安定業績株へのシフト）

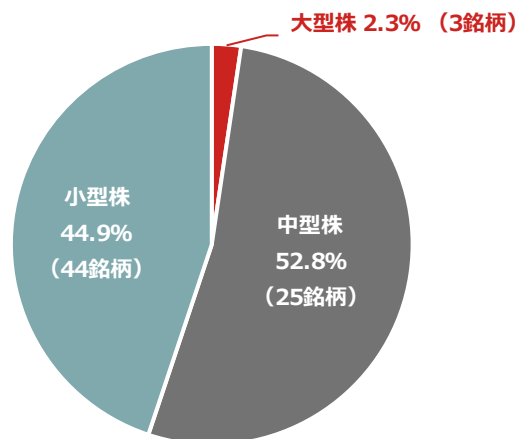
社会/企業の変化

に対しては

成長企業、勝ち残り企業に選別投資して対応

業界をリードすることが期待される、変化の兆しがある企業を選別

ご参考：当ファンドのポートフォリオの規模別分類



時点：2023年9月29日

(注) 規模別分類はラッセル野村 日本株インデックスの分類による
(出所) ブルームバーグおよび社内のデータを基に野村アセットマネジメント作成

③ 銘柄紹介

豊田通商 (8015)

トヨタグループの総合商社です。

資源価格の上昇が今後も続くと想定されるなかで、世界中に権益や事業機会を有する商社の業績拡大に期待しています。特に同社は再生エネルギーやアフリカでの事業に注力しており、総合商社の中でもその高い成長ポテンシャルを評価しています。また、国内最大級の風力発電事業者であるユーラスエナジーホールディングスの子会社に持っており、今後の再生可能エネルギー活用のフロントランナーとしての評価の向上にも期待しています。

ディスコ (6146)

日本を代表する半導体製造装置メーカーです。

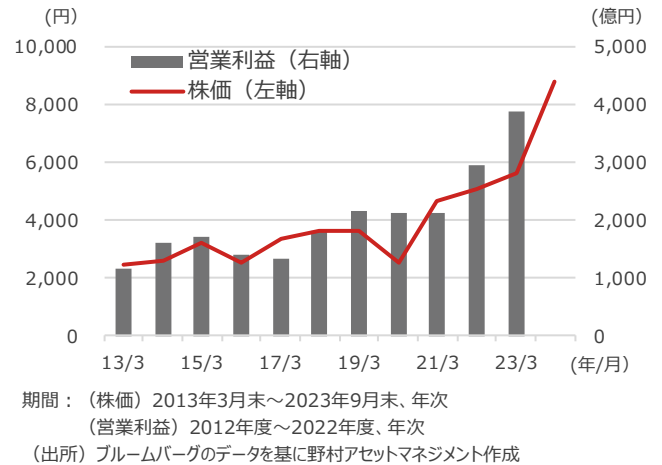
切断・研磨・研削の技術を強みに世界シェア首位の製品群を有しています。今後は、大きな変化が期待される半導体業界の中において、高い市場成長率が見込まれる生成AI（人工知能）向け高付加価値製品の需要増加やEV（電気自動車）など脱炭素を背景とした化合物パワー半導体用途向けの需要拡大を捉えたさらなる利益成長に期待しています。

東洋炭素 (5310)

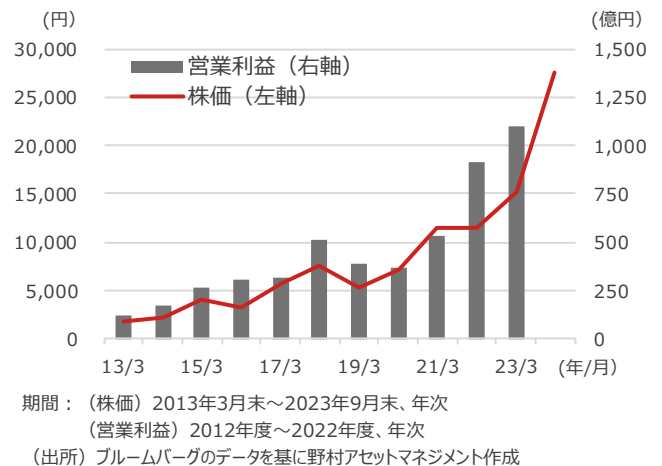
高機能カーボン製品の製造・販売を行なう世界的メーカーです。

EVの航続距離延長に向けてSiC（炭化ケイ素）の需要増加が期待される中、同社製造のSiC製造向けのろつぼ（物質を強く熱するのに用いる耐熱性の容器）やSiCコーティング黒鉛製品のサセプター（台座）の需要拡大と需要拡大に伴う収益性の改善に期待しています。

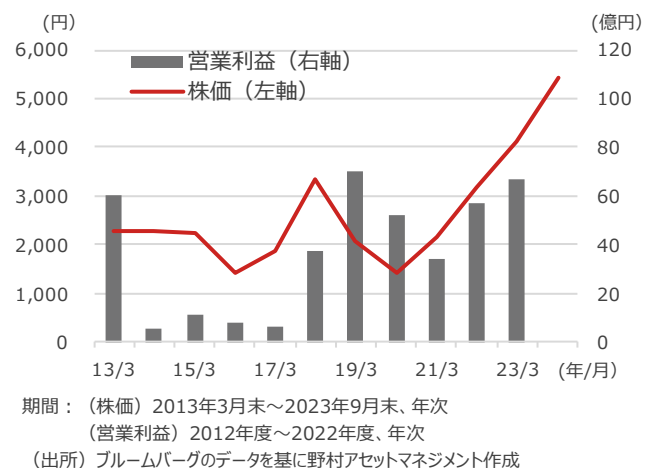
豊田通商の株価と営業利益の推移



ディスコの株価と営業利益の推移



東洋炭素の株価と営業利益の推移



上記は、ファンドの組入上位銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

(ご参考) 運用担当者のご紹介

運用担当者のご紹介

当ファンドの運用担当者は、日本株で3年、欧米テクノロジー株で3年半の調査業務を含め、25年以上にわたる運用調査経験を有します。当ファンドの他、コア型と呼ばれる投資対象を企業の規模（大型・小型など）や業種、あるいは投資テーマを限定することなく、かつ、投資スタイルもグロース（成長株）やバリュー（割安株）などに特定せず運用するファンドやテーマ型ファンドの運用も担当しており、その高い運用実績を背景に、外部評価機関からの受賞歴も多数有しています。

ファンドマネージャーの運用スタイルには、特定の理念やスタイルに立脚した運用を行なうタイプその他、日々の投資環境の変化から投資アイデアを見出し、柔軟な運用を行なうタイプ、など様々なタイプがありますが、当ファンドの運用担当者は後者、投資環境にあわせ柔軟な運用を行なうタイプに該当します。

上述の通り、運用するファンドの特性はそれぞれに異なりますが、25年を超える長い運用調査経験に基づき、日々変化する投資環境の中から幅広く投資機会を探り、自らの確信度の強さに応じて、「臨機応変」、且つ「メリハリ」をきかせてリスクを取りに行く運用手法は、運用を担当する全てのファンドにおいて共通した特徴となっています。

チーフ・ポートフォリオマネージャー
福田泰之



1995年に野村証券投資信託委託（現野村アセットマネジメント）に入社。アナリストとしてキャリアをスタート。弊社ロンドン拠点でも調査を担当後、東京本社にて国内投資信託や年金の運用担当に。現在は、複数ファンドの運用を担当しており、外部評価機関から受賞歴多数。

2016年4月より当ファンドの運用を担当。担当全ファンドの運用資産残高は2,000億円を超える。

(2023年9月末現在)

当資料で使用した指数の著作権等について

●配当込みTOPIX（「東証株価指数（TOPIX）（配当込み）」といいます。）の指数値及び東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に係る標章又は商標は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に係る標章又は商標に関するすべての権利は J P X が有します。J P X は、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、J P X により提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対しても J P X は責任を負いません。

●Russell/Nomura Mid-Small Capインデックスの知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社およびフランク・ラッセル・カンパニーに帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社およびフランク・ラッセル・カンパニーは、Russell/Nomura Mid-Small Capインデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、Russell/Nomura Mid-Small Capインデックスを用いて運用される当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

上記の運用担当者は今後変更となる可能性があります。

ファンドの運用状況

基準価額の推移

期間：1996年7月31日（設定日）～2023年10月26日、日次



基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

「小型ブルーチップオープン」

【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。
 - わが国の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)している中小型株^{※1}を実質的な主要投資対象^{※2}とします。
※1 ファンドにおいて中小型株の分類は、時価総額や発行済株式数その他を総合的に勘案して行ないます。なお、当面はRussell/Nomura Mid-Small Cap インデックス採用銘柄を主体とします。
(注) 組入銘柄の時価総額や発行済株式数等の異動があった場合も実質的な主要投資対象として保有を続ける場合があります。
※2 「実質的な主要投資対象」とは、「小型ブルーチップオープン マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
 - 中小型の成長銘柄をバリュエーションを勘案して厳選します。
 - ボトムアップにより銘柄を選択します。
 - “成長性”は運用担当者独自の尺度ではかります。
 - “バリュエーション”は個別銘柄別に判定します。
 - 中長期投資が基本スタンスです。
 - 極端な重点投資は行ないません。
 - 成長銘柄の株価の成長をフルに捉えるために、株式の実質組入比率は基本的に高位で臨みます。
 - Russell/Nomura Mid-Small Capインデックス(配当込み)をベンチマークとします。
 - ・ Russell/Nomura Mid-Small Capインデックスは、Russell/Nomura 日本株インデックスのサイズ別指数です。
 - Russell/Nomura Total Market インデックスは、わが国の全金融商品取引所上場銘柄の全時価総額の98%超をカバーしています。このうち、時価総額下位約50%の銘柄によりRussell/Nomura Mid-Small Capインデックスが構築されています。Russell/Nomura 日本株インデックスにおける「時価総額」による分類は、安定持ち株控除後の時価総額を指しています。対象銘柄は毎年12月に見直されます。
- 指数の著作権等について ■

Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックスの知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社およびフランク・ラッセル・カンパニーに帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社およびフランク・ラッセル・カンパニーは、Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックスを用いて運用される当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- ファンドは「小型ブルーチップオープン マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
 - 原則、毎年1月および7月の30日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。
分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。
* 委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。
市況動向、資金量、残存信託期間等によっては上記のような運用ができない場合があります。

「小型ブルーチップオープン」

【投資リスク】

ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 無期限(1996年7月31日設定)
- 決算日および収益分配 年2回の決算時(原則、1月および7月の30日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の基準価額
- ご購入単位 一般コース:1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円)
または1万円以上1円単位
自動けいぞく投資コース:1万円以上1円単位
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、NISA(少額投資非課税制度)の適用対象ファンドにおいてNISAを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。
詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2023年11月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.672%(税抜年1.52%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時)	1万口につき基準価額に0.5%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

《分配金に関する留意点》

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

設定・運用は

NOMURA

野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号

加入協会：一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

●サポートダイヤル ☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<http://www.nomura-am.co.jp/>



【当資料について】

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

【お申込みに際してのご留意事項】

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- 投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

小型ブルーチップオープン

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○		○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
十六TT証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第188号	○			
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第114号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第167号	○			
岡三にいがた証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第169号	○			
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○	○		

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

小型ブルーチップオープン

以下は、取次販売会社または金融商品仲介による販売会社です。

お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。